



Title	投稿規程・執筆要項、編集後記、奥付
Citation	教育福祉研究, 26
Issue Date	2022-10-25
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/87050
Type	bulletin (other)
File Information	080-0919-6226-26.pdf



[Instructions for use](#)

「教育福祉研究」投稿規程

1. 投稿者は原則として、教育学研究院教官（非常勤講師を含む）・大学院生、教育福祉論（旧・教育計画）研究グループ出身者とする。
2. 投稿にあたっては、別途定める執筆要項（最新号参照のこと）に従って原稿を作成し、印字原稿2部と、原稿をWordまたはテキスト形式で保存した電子媒体を提出すること。
3. 投稿論文は、当該研究グループに設置する編集委員会で審査し、一定の研究水準に達しているとともに、新たなファクト・ファインディングがあるなど、公表することに社会的意義があるものを積極的に取り上げる。
4. 投稿の締め切りは、原則として毎年5月末日とする。

執筆要項

1. 原稿は、縦置きA4用紙に横書きで、1600字（40字×40行）で印字し、図表を含めて15枚以内とする。
 2. 本文の見出しは以下のように統一する。
 1. 2. 3. ……「章」に相当
 - (1) (2) (3) ……「節」に相当
 - 1) 2) 3) ……「項」に相当
 3. 文章の形式は、口語体、常用漢字を用いた新かなづかいを原則とする。また読点は「、」で、句点は「。」で入力する。
 4. 本文中の脚注番号は、該当箇所（1）2）の肩番号を付し、文末に番号順に記す。
 5. 引用文献は本文の該当箇所に（執筆者名（姓のみ）西暦出版年（4桁表示）：引用頁）を示し、タイトル等は文末の文献リスト（注がある場合はその後）に記載する。

【例】（籠山1978：221）（Sen 1985：訳書14-15）
 6. 文末における文献リストは、著者（ファーストネームのファミリーネーム）のABC順に並べる。また、
 - ① 著者名（外国語の文献の場合もファミリーネームを最初にする。ファーストネームおよびミドルネームはイニシャルだけでもよい。）
 - ② 西暦出版年（4桁表示）
 - ③ タイトル（邦文の場合：単行本は『 』、論文は「 」
欧文の場合：単行本はイタリック体）なお、邦文の場合はタイトル—サブタイトルとし、欧文の場合はタイトル：サブタイトルとする。
 - ④ 掲載雑誌名（和雑誌の場合は『 』、洋雑誌の場合はイタリック体）および巻号
 - ⑤ 出版社名
 - ⑥ 掲載頁（論文の場合）を表示する。なお、同じ年に発行された同じ著者の文献が複数ある場合には「1998a」「1998b」のように出版年の後にアルファベットを付けて区別する。

【例】青木紀（2003）「貧困の世代的再生産の視点」『教育福祉研究』9、1-8。
籠山京（1978）『公的扶助論』光生館。
Nussbaum, M.C. (1999) Women and equality: The capabilities approach, *International Labour Review*, 138(3), 227-245.
Sen, A. (1985) *Commodities and Capabilities*, North-Holland. (=1988、鈴木興太郎訳『福祉の経済学—財と潜在能力』岩波書店)
杉村宏（2003）「第6章 貧困家族の自立支援とケースワーカー」青木紀編著『現代日本の「見えない」貧困—生活保護受給母子世帯の現実』明石書店、191-210。
7. 図表は、「図1」「表1」のように表示し、図表の出所、説明、記号等を付記する。
8. 編集委員：松本伊智朗（本研究院教授）、鳥山まどか（本研究院准教授）

札幌市北区北11条西7丁目 北海道大学大学院教育学研究院 教育福祉論研究グループ

編集後記

ロシアによるウクライナ侵攻から半年が過ぎた。まだ戦争は継続している。考えてみれば、地球上のどこかに、常に戦争がある。研究は直接戦争を止められない。無力感がつのる。戦時下では、事実が隠され、ゆがめられる。事実が戦争に都合の良いように解釈される。異論が封じ

られる。一方、研究という営みは、事実を隠さないこと、解釈や分析の方法に客観性と合理性を求めること、異論を封じないこと、こうした点を基盤にして成立しているはずである。従って本来、戦争と対極の位置にある。研究は戦争を止められないが、研究のない社会に戦争は止められない。本誌もその捨て石の一つでありたい。（松本）

